

月刊 ウィーン

Monatsmagazin Japanisch

現地オリジナル取材と編集で
ウィーンを伝える月刊情報紙

創刊平成元年 創刊31年目 **Nr. 359**

GEKKAN-WIEN 2019年9月号





杉本純の原子力の話II ウィーンと京都 92

福島第一原子力発電所の廃炉について考える福島第一廃炉国際フォーラム（原子力損害賠償・廃炉等支援機構主催）が八月四、五日に開催された。初日は福島県富岡町で地元の方々と対話型ワークショップと学生セッションが、二日目はいわき市にて「地元共生と廃炉プロジェクト」をテーマに国内外の専門家によるパネル討論などが行われ、二日間延べ約千三百名（うち、ほぼ半数が福島県民）が参加した。

原子力損害賠償・廃炉等支援機構の山名理事長は、五日のプログラム開始に先立ち、「六〇名の高校生たちを含め、地元の方々と活発な議論がなされた」と前日の模様を振り返った上で、「中長期的な廃炉の進展に向けて、地域と共生すべき事業と認識する」とテーマの意義を強調した。清水いわき市長は「日々福島第一の廃炉に携わる四千人のうち、六割は地元の方々が占めている」と地域の力を強調した上で、廃炉作業の完遂に向けて「海外の知見・実績を共有して欲しい」と有意義な議論を期待した。

地元との共生に関わる事例として、英国国立原子力研究所から、地域企業三百社以上を集結させ、セラフィールド原子力サイートの廃炉工程だけに留まらず、地域支援にも貢献した英国エナジー・コースト・ビジネス・クラスターの取り組みを披露。米国からは、周辺大学との教育構想・キャリアパスの連携を通じ、優秀な技術者育成につながった事例が紹介された。



国内からは、JR西日本の石川氏が、西日本地域の人口減少傾向から「地域の衰退が将来における企業の経営課題」と強調し、地元自治体と連携したサバ養殖などにも取り組んでいることをあげ、新しい事業領域への挑戦を通じた地域の価値向上の必要性を原子力産業界に示唆した。福島第一原子力発電所の地元企業としてエイブルの中馬氏から、八月に着手した同社の1・2号機排気筒解体作業の映像を披露した上で、自社の強みとして、中小企業ならではの迅速な意思決定、既存の有用なパーツの組み合わせによる工期短縮、長年の下請けを通じた構造物の熟知などをあげ、東日本大震災のつらい経験をプラスのエネルギーに変える企業姿勢を強調した。

パネリストでは、仏原子力・代替エネルギー庁、英国原子力規制庁、米国エネルギー省の各パネリストが地域との共生の重要性を強調。これを受け、東京電力福島第一廃炉推進カンパニー・副社長の高原氏は「福島島の復興や廃炉の安全かつ着実な進展に向け、技術と同時に地域と一体となる必要性を強く感じた」と述べた。

さて、今月のウィーンと京都の対比では、両市の夏の風物詩の一つである川沿いのレストランについて述べる。ウィーンは五月〜九月の夏場は、一年で最も美しいシーズンであり、野に山に川へと人々が出掛け、内外からの観光客が最も多く訪れる季節である。中でもドナウ川に沿った好位置にあるレストランでは、仮設のテラスを設けるなどにより、お客さんは涼しげなドナウ川の流れと心地良い風、遠くの山に沈む夕日時には花火、それに美味しい世界の飲み物料理を楽しむことができる。街中でドナウ

運河を見下ろすテラスカフェ「モットー・アム・ブルス」、地下鉄ドナウインゼル駅から近い「サンケンシティー」や「ザンジバル」などの店が有名である。

一方、京都では五月〜九月に鴨川の右岸に数多くの納涼床が出現する。慶長年間を起源とする四百年以上の歴史と伝統を有する。場所は南の松原橋から北へ四条大橋からは先斗町、三条大橋からは上木屋町に沿って、九十店以上が軒を連ねる。鴨川の流れと虫の音を聞きながら涼風を感じ、遠く東山を見ながら料理、飲み物を楽しめるのは特別な世界である。舞妓さんが同席していることもある。和風料理ばかりでなく、フレンチ、イタリアン、タイ料理の他、三条大橋近くにはスターバックスさえある。桂小五郎の恋人、のちに妻となる芸妓にちなむ老舗の「幾松」、大正時代から続く古風な「いづもや」、豆腐懐石と涼やかな風薫る「豆水楼」などが有名である。

余談であるが、ウィーン駐在時の夏場には「ザンジバル」でドナウ川に臨みつつ、飲み物と料理を楽しむ機会があった。京都では五山送り火を観ながら友人らと鴨川納涼床を楽しんだ。両市の夏の風物詩にまつわる話を紹介できた幸運に感謝しつつ、編集部に掲載をお願いした「ザンジバル」の写真を掲載させていたたく。



杉本純 元京都大学教授
元原子力機構ウィーン事務所長

杉本純の原子力の話II 「ウィーンと京都」の第1回からの全記事が次のサイトに掲載されています：<http://wattandedison.com/Sugimoto.html>

